

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和5年度 8月号

いいかも



夏のパワーを全身に浴び、親も子も、強くたくましく伸びゆくことを願います！

可茂地区トレジャーワード

家庭教育楽しさ再発見！～関わろう・学び合おう・高めよう～



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

大変暑い毎日が続いています。家庭に戻った子どもたちは、日々を元気に過ごしているでしょうか？夏休みに入ったばかりの頃は、比較的緊張感もあり、ラジオ体操の時間に間に合うように起きて涼しいうちに課題を済ませ、規則正しい生活を送っていたことでしょう。それが崩れ始めるのが8月に入った頃からです。一日一日過ぎていくカレンダーを見つめ、ふと気持ちが沈んだり、まだまだこれからと自身を奮い立たせたり、子どものときの心の動きが思い起こされます。「暑さに負けず外で遊び、プールに入って、日焼けして真っ黒になりましょう。」と、かつて言っていたこんな言葉は時代にそぐわなくなってきましたが、願うことはただ一つ。皆が命を大切に、夏のパワーを心身の成長に存分に取り入れてほしいということです。数週間もすれば2学期が始まります。元気いっぱいのスタートを切るために、この休みを充実させることは必須です。夏のパワーを全身に受け止め、心と体がエネルギーで満タンになることを期待します。そのために欠かすことができないのは親子のふれあいです。家族で遠出をしたり外食をしたりと、それはもちろん夏のお楽しみの一つでもあります。そればかりが心を通わす方法ではありません。「話そう！語ろう！わが家の約束」運動等を大いに利用し、家庭の温かさを、家族のきずなを十分深めてほしいと願っています。

家庭教育（学級）いろいろ

～なるほど～！

<家庭教育支援条例>

平成26年12月、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができる環境整備に努めるとともに、家庭教育を地域全体で応援する社会的気運を醸成することで、子ども達の健やかな成長に喜びを実感できる岐阜県の実現を目指して「岐阜県家庭教育支援条例」が公布・施行されました。



<家庭教育学級 訪問・取材より>

7月は、**5つの学級や団体**を訪問しました。**参集型**が復活し、そこに**サロン**を組み入れ、とても**充実した学級**が展開されています。P2～6にその様子を掲載しました。ご覧ください。「是非、うちの学級に来てほしい。」そんなお声が県事務所に届くことを期待しております。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動のパンフレットはご覧になりましたか？みなさんの取組が楽しみです。



講演会型+子育てサロン型



No. 4

可児市立旭小学校 おひさまクラブ

「コミュニケーション力アップのために」

皆さんが、家族や仲間とつながり笑顔になるために、コミュニケーション力の向上は欠かせません。この講座でヒントをつかんでもらったことが日々の生活につながり、笑顔になってもらえるといいな！ 7/6 (木) 10:00~11:30 旭小にて

講師：ブライダル・イベント MC 親子関係心理カウンセラー 船本 さおり氏

<前半 講演会> コミュニケーション力はどうしたら身に付くのかな？ 10:00~



1 自己紹介をしましょう。
フルネーム ニックネーム 自分の好きなこと PR
自己紹介をする中で「笑顔」と「うなずき」。相手に興味をもったことの表れ。

2 ワークショップをしましょう。
○片方が話しかけ、片方は、一切反応しない。(1分間)
○片方が話しかけ、うなずくだけ。
相手が反応しないのが一番つらい！「うなずき」は、一つの信頼関係の表れ。まずは「うんうん」「へえ～」とうなずきましょう！

人とのコミュニケーションに大切なこと
会話の時の「うなずき」や「笑顔あいさつ」
うなずきは、相手の心に安心感を与え、あいさつは、人の心をノックする。

Q&A
・どのような声かけをしたら、子どものコミュニケーション力がアップするか？(とにかく親から声をかける。マイナス的な表現は用いない。)
・人と会話を弾ませるための話題は？(まずは、天気、体調、時事ネタから)
・どうしたら上手にしゃべれるのだろう？(人と話す回数を増やす。「私、今、何をしゃべっていたのだろう？」はある意味、おしゃべりに夢中になっている証拠。)
・人前で話すのが苦手、よい方法は？(最初に自分をさらけ出す。「緊張しています。」等、その時の気持ちを先に伝えることで皆が応援してくれる。)

○うちの子は、疑問に思ったことを図書館で調べて解決しています。「好き」があるのはいいことだなと思っています。
○優しい子です。親の弱気をフォローしてくれます。
○野菜の収穫が大好きで、早起きをして採りに行きます。
○ゲームに対する集中力がすごく、扱い方をよく知っています。親が教えてもらうくらいです。等々…。

<第2部 子育てサロン会> テーマ「うちの子のすごい」自慢をしましょう 11:15~

楽しい時間を過ごすことができた。よいコミュニケーションは言葉のチョイスより笑顔！マスクで笑顔を忘れていたので、笑顔の練習をしようかな。(アンケートより)

人見知り激しくて、話したいのに話せないことやもやもやすることがずっとあった。今日の講話で、安心、すっきり！(アンケートより)

まずは、自分からあいさつや表情をよくしないといけないと気づかされた。今日のことを生かしてコミュニケーション能力を少しでもアップさせたい。(アンケートより)

つながる楽しさ膨らみます！



No. 5

加茂郡八百津町立八百津中学校 家庭教育学級

「現代型栄養失調」

子どもが3人いるがそれぞれに好きなものが違う。他の家庭はどのように対応しているのだろう。心身の成長につながる『食』について、是非、知りたい、情報共有したいという思いから、本講座を開設する。 **7/7 (金) 13:30~15:00**

講師 : 八百津町健康福祉課 管理栄養士 八百津町中央公民館にて

「現代型栄養失調」

<高齢者> 歯やあごの力が弱くなり、肉類を避けるため、たんぱく質不足に陥りやすい。食欲の低下に加え、独居など環境の影響で**食事量が減少**する。

<子ども> 主食の変化（白米からパン・パスタ等へ）とおやつにより、**炭水化物や脂質の摂取が増え、ビタミンやミネラルが不足**してきた。体重を減らすため、**極端にカロリーを減らす**傾向にもある。

↓
「**栄養バランスを整える**」ことが大切。

○主食・主菜・副菜をバランスよく摂る工夫。

- ・汁物の中に野菜をたくさん入れる。
- ・焼きそばの中に野菜を入れる。
- ・うどんやトーストに、いろいろな具材を乗せる。

↓
一日の食事の中で、調整する。

「栄養の合言葉」 さあにぎやかにいただく

- 「さ」・・・魚
- 「あ」・・・あぶら
- 「に」・・・肉
- 「ぎ」・・・牛乳
- 「や」・・・野菜
- 「か」・・・海藻
- 「に」・・・**
- 「い」・・・いも
- 「た」・・・たまご
- 「だ」・・・大豆
- 「く」・・・果物

毎日楽しく！
食事は、一生続くこと。あまり神経質にならず、少し気を付けながら取り組んでいこう！

栄養がしっかり摂れる「**簡単メニュー**」、「**楽しく・おいしく食べるおやつ**」の紹介がありました。

<以上、講話より>



- <子育てサロンより>
- ・朝は、**ちょこちょこ**とした物をいっぱい作るようにしています。子どもにも、**一つの物をたくさんは食べるのはダメ**とっています。
 - ・給食は、本当にありがたい。安くて**栄養バランスも整っている**。
 - ・料理にとろけるチーズをよくつかいます。**塩分調整**しています。
 - ・本町の給食にはいつも**デザート**が出ます。子ども達は、とても喜んでます。
 - ・学校では**フードロス対策**ということで、少しでも早く配膳をし、**食べる時間を確保**しているそうです。
教頭先生や栄養士さんもサロンに参加してくださいました。

- ・**栄養**について改めて考える時間になった。
- ・朝ごはんをしっかり食べたほうがよいと聞いたので、これからは**おかずをたくさん**作ろうかな。
- ・塩分や**栄養のバランス**を意識しつつなら、好きなものを食べてよいという言葉に安心した。
- ・少しの意識で、家族の食生活や栄養摂取がかわってくるのかな。**野菜や肉を組み合わせて**いこうと思う。
- ・「現代型栄養失調」ということについて学ぶことができ、とても勉強になった。 <アンケートより>

新たな知識に出合う楽しさ膨らみます！

講演会型 + 体験活動参加型

No. 6

美濃加茂市立山手小学校 PTA あいさく講座

「給食試食会 給食センター見学」

子ども達は、日ごろどのようなものを食べているのだろうか。給食がどのように作られているか保護者が知る機会が少ない。やっとコロナが明けて、このような講座も開設できるようになってきた。是非、美濃加茂市の給食センターの様子について知りたい。 **7/18(火) 10:00~11:45 学校給食センターにて**



講師 : 美濃加茂市学校給食センター 栄養教諭

1 給食センター見学



1 「調理の様子の見学」 ~見学しながら質疑応答~

- Q: 仕事は、どのように行っているのですか?
A: お汁を作る担当になると、一か月間その仕事をします。シフトが決まります。
- Q: 卵は一個一個手で割るのですか?
A: すでに割ったもので殺菌済の卵液を使っています。食材等すでに切ったものを購入する場合も多いのです。
- Q: 一つの鍋で、何人分くらいできるのですか?
A: 一つの鍋で約1,200人分の汁ができます。そのお鍋6つ分くらいの汁を作ります。
- Q: 何時頃から仕事が始まるのですか?
A: 7時30分から始まります。45分くらいになると野菜等が運ばれてきます。
- Q: センターの勤務体系は?
A: 終日勤務の人もいれば、短時間勤務の人もあります。仕事そのものについて言うならば、給食を作り、洗い物をして片付けをするまでが仕事です。

2 ご講話



2 講話

みなさんの「思い出の給食は？」

- ・ソフト麺・ミルメーク・あげパン・クジラの竜田揚げ・脱脂粉乳

今の人気の給食は？

- ・鶏肉のから揚げ ・ラーメン ・カレーライス

学校給食の7つの目標

- ・健康な体を作る。 ・望ましい食生活のお手本になる。
- ・助け合い、協力し合う社会性を身に付ける。
- ・自然の恵みに感謝する心を育てる。
- ・働くことを尊び、感謝する心を育てる。
- ・地域の食文化を知り、未来に伝える。
- ・食を通して社会の仕組みを学ぶ。

そして

- ・学校給食を通じて人の「おいしい」の幅を広げたい。
- ・人と食べる楽しさを伝えたい。
- ・学校給食を、そこに関わる人々の思いにつなげたい。

学校給食 → 食育へ



3 試食会



- ・家庭教育学級での講座は、とても学びになる。今日は、なぜ給食があるのかその目的がよく理解できた。
- ・普段学べないことを学ぶことができた。
- ・今年度、試食会が復活してよかった。〈インタビューより〉

こだわり

- ・美濃加茂市産のお米を使う。
- ・丁寧な作業にこだわる。(規模は大きくても、みそ汁にはぼし、すまし汁はかつおで出汁を取り、揚げは油抜きをする等)
- ・できるだけ手作りで。
- ・地元産食材を使う。(地産地消) (農林高校の梅ジャム等)
- ・フードロス対策 むいた皮 → たい肥 → さつまいも → 給食へ (循環を大切に) <以上講話より>

人々の思いを知っていただくと美味しさ倍増です!

絵本ライブ 2023 in とみか



No. 7

主催：読書サポーターズの会

共催：富加町教育委員会、富加小学校、とみかこども園家庭教育学級

「絵本を歌う、絵本であそぶ」

絵本の魅力や楽しさを歌（本文にメロディーをつけたもの）やライブペインティングで表現します。思わず笑顔になり、子どもも大人も絵本の世界に惹きこまれること間違いなし。このライブが、親子での共通体験と感動を共にする時間になりますように！ 7/16（日）13：30～タウンホールとみかにて

絵本作家：高畠 純 氏 & 絵本シンガー：杉山 三四郎 氏
～読み聞かせ・歌・ライブペインティング～



岐阜で絵本専門店「大きな木」を経営しておられ、絵本シンガーでもある杉山氏が、ギターを片手に弾き語りを始めます。絵本の作者（絵を描いた方）である高畠氏は子ども達とやり取りをしながら舞台上のホワイトボードに様々な動物の絵を描きます。

1時間30分の中で紹介された絵本は、約10冊。「おととつと」「オースッパイ」「うし」「ワニぼうのこいのぼり」「なぞなぞはじまるよ」「たぶんぶた」「はたらくんジャー」「おどります」等、全て高畠氏の作品（絵）であり、その歌詞にぴったりの曲をつけ、コミカルに歌い上げる杉山氏の演奏は、とてもユニークでした。最後は代表の子ども達が舞台上上がり、ナレーションや踊りで会を盛り上げました。

お二人の話術、音楽、絵の巧みさに、参加者が惹き込まれ、会場が一体となり、豊かな時間を共有することができました。（参加者は、町内外を合わせ約350名）

大活躍！双葉中学校・ボランティアの皆さん

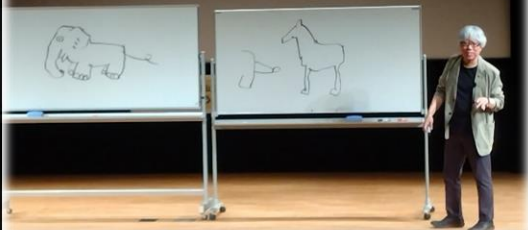
受付や案内等、様々な仕事で、絵本ライブの運営を助けてました。丁寧に話しかけ、しっかりと受け答えをする姿は、とても立派でした。絵本を通してみんながつながる、中学生の積極的な参加にそれを強く感じました。幼い頃、絵本ライブで育った子たちかもしれないですね。

富加町恒例の「絵本ライブ」は、今年で9年目を迎えます。毎年、夏休み直前の休日を利用して開かれており、長期休業日を親子で有意義に過ごすヒントをいただいています。

「いつも読みかけの本がある子」を目指して活動を推進しておられる主催者・読書サポーターズの思いがこもった町ならではのこの行事が、長く続くことを期待しています。



視覚や聴覚を通して絵本を楽しみます！



親子しごとと体験教室



No. 8

岐阜県立国際たくみアカデミー

「～しごとの魅力・発見～」

自らの手を使って「物を動かす」「生み出す」楽しさを、多くの皆さんに体感してほしい。そこで見つけた仕事の魅力が、将来の職業を選択する一つのきっかけになることを期待しています。 **7/22(土) 9:00～11:20 国際たくみアカデミー内**

講師：国際たくみアカデミー職員・生徒・学生

団体協力者45名

<プログラム>

- ・受付
- 1 開講式
- 2 団体様 PR
- 3 体験教室（1回目）
- 4 片付け・まとめ・移動
- 5 体験教室（2回目）
- 6 片付け・まとめ・アンケート記入
- 7 閉講式

開講式<校長先生のごあいさつ>

参加の皆さん、半日よろしくお願ひします。各業界・団体のプロフェッショナルの皆さんから、ものづくりの楽しさを学びましょう。

- 1 安全に楽しく、親子で取り組もう。（熱中症やケガに注意！）
 - 2 たくみアカデミーという学校を知ってほしい。
 - 3 体験したこと、知ったことを、友達に伝えてほしい。
- 今日の日を夏休みのよい思い出にしてください。

Q：この体験教室のことをどうやって知りましたか？

A：子どもが学校からもらってきたチラシを見て、楽しそうだなと思って。

A：子どもに話したら、やってみたいと言ったので、申し込みました。

Q：どうですか、実際に体験してみても？

A：いいですねえ。もっと回数が増えるとよりいいですね。

A：とても楽しいです。



<9つのコース> *測量・ドローン体験* ミニチュア椅子の作成体験* 大工体験* ぬりかべ体験* かわらぶき体験* 鋳物製造体験* 新しいものをつくり出す体験* 管工事体験* 自動車の整備体験

つくる楽しさ、親子で体験！



この体験教室の指導は、たくみアカデミーの生徒・学生・先生方に加え、地元のたくさんの事業所・団体の協力者が行っています。中には、厚生労働大臣から認定・登録を受けた、ものづくりマイスターの方もおられました。本物の技術・技能にふれられる貴重な時間でした。

本教室は大変人気で、約400名の参加希望があり、当日は、当選した86名が親子で参加しました。年1回の開催だそうです。もっと開いてほしいという要望も多いようです。